

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	公衆衛生学Ⅱ 1単位 15時間 (公衆衛生活動の実際)	
開講時期	2年次 前期	
担当教員	川島美昭	
<p><科目のねらい> 地域や組織内での公衆衛生活動について、時代とともに変化するライフステージでの人々の健康に及ぼす影響について学び、具体的な政策や施策を理解する。</p> <p><到達目標> 1. 地域や組織内での公衆衛生活動から各ライフステージでの人々の健康に及ぼす影響を知る。 2. 健康を守る、具体的な政策や施策を理解する。</p>		
授業計画・内容・担当教員		
1回目	1. 地域における公衆衛生の実践1 公衆衛生看護・保健指導・訪問指導 母子保健・母子健康手帳・母体保護法	講義
2回目	1. 地域における公衆衛生の実践2 1) 成人保健 疾病予防・生活習慣病予防・特定健康診査・特定保健指導・喫煙・がん対策	講義
3回目	1. 地域における公衆衛生の実践3 1) 高齢者保健 高齢化社会・地域包括ケアシステム 2) 精神保健 障害者総合支援法・自殺予防対策	講義
4回目	1. 地域における公衆衛生の実践4 1) 歯科保健 口腔保健・齲歯予防・口腔ケア 2) 障害者保健・難病保健 障害とは・難病法・指定難病・発達障害	講義
5回目	1. 学校と健康 1) 学校保健安全法・学校保健活動・健康診断 ・学校環境衛生 2) 学校感染症・特別な支援を必要とする子供たち	講義
6回目	1. 職場と健康 労働安全衛生法・職業病の予防・作業環境管理 トータルヘルスプロモーション・ワークライフバランス	講義
7回目	1. 健康危機管理・災害保健 健康危機管理体制・災害時の医療体制 ・災害時の保健活動	講義
8回目	終了試験	
評価方法	筆記試験 100%	
受講生に対するメッセージ	授業はテキストとプリントを使用して進めます。あらかじめ、テキストを予習して臨んでください。また、健康・保健・環境などに関係するニュースなどが数多くメディアから発信されているので、その背景にある事柄も含めて興味を持って見聞きしてください。	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度② 公衆衛生 医学書院	
参考書		